

昭和大学附属烏山病院だより

あおぞら

〔発行責任者〕病院長 岩波 明

〔編集責任者〕広報委員長 常岡 俊昭

〔住所〕〒157-8577 東京都世田谷区北烏山6-11-11

〔電話〕03-3300-5231(代表)

第142号

[2019年5月31日発行]

看護の日

看護師長 江渡 春美

5月12日はナイチンゲールの生誕を記念し1990年に「看護の日」と制定されています。この12日を含む1週間は看護週間とされ、地域の皆様や患者さんに看護の魅力を伝えられるイベントが全国的に企画されています。

烏山病院では5月10日(金)10時~15時に病院の駐車場前で「看護の日イベント」を行いました。内容はストレスチェック・血圧測定・BMI・看護相談・栄養相談で9名の看護師と鈴木管理栄養士が参加しました。血圧測定者は75名で全項目の測定をした方は65名でした。当日は晴天で5月の清々しい気候に恵まれ実施できたことに感謝いたします。

近隣の方が散歩の途中でお越しくださり、また「つつじ園」に散策にきたグループの方々の測定や健康相談ができました。来場者との話しの中では医療者として大変嬉しい健康管理の対策等をうかがうことができました。日頃の運動の工夫として階段を使っていること、ジョギングを週に1回頑張っている方、高血圧の心配で食事の工夫や血糖を気にしている方など、皆さまが日頃から気を付けていることなどがありました。それらのことに少しのアドバイスなどができたことも感謝の思いです。恒例の栄養相談は18名の方の参加があり、鈴木管理栄養士の面白く、そして楽しい食事の工夫のアドバイスをすることができました。皆様が気になるダイエットの話では、炭酸飲料の糖分の恐ろしさをペットボトルの中にステックシュガーを入れ実際の糖分量を視覚で訴えることを行いました。イベントには患者さんや職員の方にもお越しいただき、感謝申し上げます。



看護の心をみんなの心に

5月12日は
看護の日

医療安全・感染対策講習会

感染管理認定看護師 池ヶ谷 訓章

2019年度第1回目の感染対策講習会を4月26日と5月9日に実施しました。講習会の中では始めに2018年度の冬季感染症（インフルエンザ・感染性胃腸炎）の発生報告を行いました。2018年度は、患者7名、職員34名がインフルエンザに罹患しました。2019年1月上旬より、爆発的にインフルエンザが流行したため、フェーズに則り早めの対策を実施してきました。その結果、アウトブレイクすることなくシーズンを終えることが出来ました。感染性胃腸炎については、患者発生はありませんでした。実施した対策としては、患者に対する手洗いの励行・風邪症状・胃腸炎症状の観察強化と症状出現時の早期対応の徹底です。職員については、手指衛生に加え、体調不良時の速やかな報告と発症時の確実な就業制限を徹底しました。

次に当院の課題である手指衛生の強化について2018年度の結果報告と、2019年度の活動方針について説明しました。手指消毒剤の払い出し量による1患者1日当たりの手指消毒回数が少ないことが当院の課題でした。そのため、今後は手指消毒剤の使用量を増加させる必要があるため、講習会では適切なタイミングに加え、手指消毒剤の消費量を増やす取り組みについて説明しました。今年度は、個人の手指消毒剤の消費量をアップすることで、さらに感染に強い病院を目指していきます。



【医療安全・感染対策講習会】上段から
池ヶ谷師長・常岡助教・真田准教授

“OT 美術部 展示会開催報告” 作業療法士 小林 崇志

こんにちは！OT 美術部です！あおぞらに掲載させて頂くのは2度目となります。今回は活動報告をさせて頂きます。どうぞよろしくお願い致します！

令和の時代が幕を開けた5月の初旬、入院棟1階の作業療法室にて展示会を行いました。今回は“桜の天井飾り”でお出迎えし、絵画や切り絵、ペーパークラフトを中心に20点以上の作品を展示させて頂きました。最初は緊張感がありましたが、30名以上の来場者から多くの言葉を頂き、会場は和やかで温かい空気に包まれていたように思います。新たに設置した感想ボックスにも励ましの言葉を入れて頂き、次回の励みになりました。

話し合いから企画、設営と準備期間が長かった分、一層の達成感がありました！次回は夏頃を予定しております。またご案内を掲示する予定ですので、是非足をお運びください。



「デイケア便り」ご紹介

デイケア利用者Oさん

5・6月号のデイケア便りができました。今月号は「2・3月に異動・退職者デイケアスタッフ」の方々の特集を組ませていただきました。また、陶芸プログラムで制作していただいた方の作品を「陶芸コラム」として掲載させていただいたのとデイケア便り制作メンバーによる、個人的な発想によるコラムも味のあるつぶやきコラムとして魅力を醸しだしています。興味をお持ちの方々ぜひ目にしていただけると「デイケア便り」を制作したかいが皆あったなって思える喜びに変わります。よろしくお願い申し上げます。

デイケア便りは外来入り口を入り、右手にあるデイケア掲示板に掲示しています。

家族教室

精神医学教室 講師 常岡 俊昭

平成31年度 昭和大附属烏山病院 家族教室のお知らせ

一人で悩んで
いませんか



疑問や不安を
共有しませんか

ご家族が疾患に対する学習を行うことは、
ご本人の予後の良い影響を与えていると言われています。

〈開催要領〉

日時：毎月第4木曜日(変更となる可能性があります)
18時～20時(受付開始17:45)

場所：昭和大附属烏山病院 1階作業療法室
対象：烏山病院に入院経験のある患者様のご家族
内容：各専門職による講義、意見交換会



家族教室には当院の患者様にもご参加をいただいています。
「どんな言葉をかけたら良いのか」
「こんな時、どんな気持ちなんだろう」等
ご家族の疑問に、当事者の立場から
答えていただきます。
この機会に、ぜひご参加下さい。

参加費無料
申し込み不要

精神疾患を患うと本人だけでなく家族も大きな不安を抱えます。今後はどうなるのか？結婚は？仕事は？子供は？どこまでが病状なのか？などわからないことだらけです。なので、当院では毎月一回、家族と医療者（医師・看護師・PSW・作業療法士・外部の薬剤師や地域の援助者など）、当院入院中の当事者も交えて勉強・意見交換をする家族教室を開いています。前半は社会資源など、家族が無理せず、親亡き後でも本人が生活を行う手段をいくつか説明しています。後半は具体的な場面を想定しての対応を当事者も含めてみんなで話し合います。

家族と当事者の関係で一つだけ確実なことがあります。それは「家族自身が人生を楽しんでいる方が当事者は回復しやすい」ということです。一緒に泣いているよりも、家族が笑っていることが当事者の回復に役立つのです。とはいっても大変な不安の中、楽しむ気にならない、という時こそ、家族教室に参加してもらえればと思っています。

毎月第4木曜日、18時～作業療法室で行っています。月に一回、少し仕事を早く切り上げて顔を出していただければ幸いです。ご家族と当事者の方一緒の参加もお待ちしています。

総合サポートセンター

～受診・入院のご相談～

受付：月曜日～土曜日・8時30分～17時

電話：月曜日～金曜日 03-3300-5329

土曜日 03-3300-5231

◎初診受付：月曜日～土曜日・8時30分～11時

◎休診日：日曜日・本学創立記念日・年末年始

《4月》	入院(前月)	外来(前月)
◆延患者数	8,388 (8,475)	6,181 (6,391)
◇一日平均患者数	279.6 (273.4)	257.5 (255.6)
◆診療実日数	31 (31)	23 (23)

【編集後記】

令和おめでとうございます！！

皆様、新元号にはもう慣れたでしょうか？5月は例年になく大型連休もあり、遠方に出かけた方やゆっくりと自宅で休まれた方と様々だったのではないのでしょうか？気付けば、5月も終わり暖かいを乗り越して夏日を観測し、日本の四季はどこに行ってしまったのかと疑いたくなる気候が続いています。6月には梅雨で湿気も加わり気分が上がりにくい時期にはなりますが今後とも心身ともに健康な令和元年を過ごしていきましょう。 広報委員 佐藤



広報委員会では、皆様のご意見ご感想をお待ちしております。

連絡先は k-kouhou@ofc.showa-u.ac.jp

